# 第５学年　　外国語活動 学習指導案

指導者　T1：石川　就美
T2：Isoke ATIBA

**１　単元名**　「She can run fast. He can jump high.
**～見つけよう，意外な一面！伝え合おう，自慢の仲間！～」**

**＜単元観＞**

本単元は，小学校学習指導要領解説外国語編における英語（３）「話すこと【やり取り】ウ　自分や相手のこと及び身の回りのものに関する事柄について，簡単な語句や基本的な表現を用いてその場で質問をしたり質問に答えたりして，伝え合うことができるようにする。」（５）書くこと「イ　自分のことや身近で簡単な事柄について，例文を参考に，音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いて書くことができるようにする。」に基づいて指導する内容である。

新しいALTや他のクラスの人に友達を紹介するために，友達の「できること」「できないこと」についてやり取りし，「紹介カード」を作成することを単元ゴールとしている。canを使って自分や友達のできることを伝え合う活動を通して，自分の良さや友達の新たな一面に気付くことができると考える。また，本単元において児童は初めて三人称に出会う。助動詞canとともに扱うことで動詞変化を回避することができるので，無理なくshe/heを導入し，表現の幅を広げさせることが可能な単元であると言える。

**＜児童観＞**

**①　伝え合う力に見る課題**

アンケートや児童の実態から，伝えたい内容や自分の思いを，既習表現を活用しながら英語で表現することが十分出来ていないという課題が見られる。また，相手の話に応じて反応したり質問をする等して会話を続けたりする力が十分身についていない。

**②　書く力に見る課題**

読んだり書いたりする活動については，授業において取り扱う機会が少なく，慣れ親しむ経験が不足している。そのため，アルファベットの大文字と小文字で混乱している児童も見られる。「書くこと」はこの単元で初めて挑戦するため，アルファベットの書き取りや，英語の「語」や「文」としての捉え方に課題がある。

**＜指導観＞**

**①　伝え合う力をつけるための手立て**

児童のその時の気持ちや伝えたいことを生かしながら，繰り返し対話的な活動を設定する。その際，既習表現を使ったり簡単な言葉で言い換えたりしながら，一文を付け加えて話を広げることができるようにさせる。

**②　書く力をつけるための手立て**

音声と文字，意味をつなげて理解させるために，音声で十分に慣れ親しんだ語句や表現を書き写すところから始める。また，書き方のきまりをやり取りで慣れ親しんだ表現について，英文の文字と教師の発話する英語の音とを結びつけて「語」や「文」の並びを確認させる。

**２　単元の目標**

【コ】他者に配慮しながら，自分や第三者についてできること，できないことなどを伝え合おうとする。
【慣】自分や第三者のできることやできないことについて，簡単な語句や基本的な表現を用いてその場で質問をしたり答えたりしながら伝え合う表現に慣れ親しむ。
　　また，伝え合ったことについて，例文を参考に書くことに慣れ親しむ。
【気】文字には音があることや，新出表現・語彙の意味に気付く。
　　英語の書き方のきまりに気付く。

**３　単元の評価規準**

| コミュニケーションへの関心・意欲・態度 | 外国語への慣れ親しみ | 言語や文化に関する気付き |
|---|---|---|
| ①　他者に配慮しながら，自分や第三者についてできること，できないことなどを伝え合おうとしている。 | ①　自分や第三者のできることやできないことについて，簡単な語句や基本的な表現を用いてその場で質問をしたり答えたりしながら伝え合う表現に慣れ親しんでいる。<br>②　自分や第三者について伝え合ったことを，例を参考に書くことに慣れ親しんでいる。 | ①　文字には音があることや，新出表現・語彙の意味に気付いている。<br>②　英語の書き方のきまりに気付いている。 |

## ４　本単元において育てたい資質・能力と目指す児童の姿

| | |
|---|---|
| 思考力・判断力・表現力 | 目的に応じて必要な情報を集めたり，伝える相手や状況に応じて学習した表現を適切に使いながら，自分の考えや気持ちを伝え合ったりしている。 |
| アイデンティティ | 互いに考えや気持ちを伝え合うことで自己を表現する楽しさに気付くとともに，互いの存在について理解を深め，認め合っている。 |

## ５　言語材料（下線は新出表現，語彙）

| 主な表現 | 主な語彙 |
|---|---|
| Can you～?　What can you do?<br>Yes, I can. / No, I can't.<br>〔I /You /He /She〕can /can't ～.<br>very well/ a little<br>Do you like～? / Do you know ～?<br>Yes, I do. / No, I don't.<br>What ～ do you like?<br>I like ～.<br>This is ～.<br>Who is he / she? | **動作**（play〔soccer / volleyball/ shogi/ kendama / the recorder / the piano **など**〕ride a 〔bicycle / unicycle〕, swim, skate, ski, cook, dance, make, fish, use, touch, catch, run fast, jump high, sing well）<br>can, can't, he, she, Mr., Ms.<br>**スポーツ，食べ物，教科，感想** |

## ６　単元ゴール

| | |
|---|---|
| コミュニケーションの目的・場面・状況 | 新しい ALT に自分達の学級を知ってもらうために，友達のできることやできないことをやり取りし合い，友達紹介カードを書いて伝える。 |
| 目指す児童の姿<br>（話すこと［やり取り］） | A: Hello. Let's try my quiz.<br>He can tell a joke. And he can sing well.<br>B: Wow. Nice!<br>A: Yes. And he can't run fast. But he can play soccer very well.<br>Who is he?<br>B: ○○kun?<br>A: That's right! He can shoot very well.<br>How about you? Can you play soccer?<br>B: No, I can't. But I like soccer. And I like Sanfrecce.<br>A: Oh, Sanfrecce. I see. |
| 目指す児童の姿<br>（書くこと） | He can tell a joke.<br>He can't run fast.<br>But he can play soccer very well.<br>（書くのは下線部のみ。動作はカードを貼ってなぞる。） |

## ７　単元計画（全８時間）

| 時 | 目標（◆）と主な活動，やり取り等 | 評価規準・評価方法 |
|---|---|---|
| 1 | ◆単元終末の活動を知り，単元の見通しを持つ。<br>◆動作を表す語や「できる」「できない」という表現が分かる。<br>【Small Talk】先生のできること・できないこと<br>教師のやり取りを聞き，単元のゴールイメージをもつ。<br>【Chant】"I can run. I can swim."<br>【Let's play】ポインティングゲーム<br>【Watch and Think1】<br>【Activity】共通点見つけゲーム<br>【Jingle】Alphabet Jingle | 【気①】<br>動作や「できる・できない」を表す表現の仕方に気付いている。<br>また，文字には音があることに気付いている。(行動観察，振り返りカード) |

| | | |
|---|---|---|
| 2 | ◆動作を表す語や「できる」「できない」という表現を聞いたり言ったりして慣れ親しむ。<br>【Chant】“I can run. I can swim.”<br>【Let's play】キーフレーズゲーム<br>【Small Talk】先生のできるスポーツや楽器<br>【Watch and Think１】<br>【Let's Talk 】できること，できないこと<br>A: I can't do kendo. But I can play soccer.<br>B: Oh, soccer. Nice.<br>A: How about you?<br>B: I can play the recorder. And I can sing well.<br>【Let's Read and Write】ALT の自己紹介文を聞いた後，読む。<br>例を参考に，自分のできることやできないことを書き写す。 | 【コ①】<br>自分のできることやできないことについて，進んで伝え合おうとしている。<br>(行動観察，振り返りカード)<br>【気②】<br>英語の書き方のきまりに気付いている。（ワークシート，振り返りカード） |
| 3 | ◆できることやできないことを尋ねたり答えたりする。<br>◆できることやできないことを含む短い話を聞いて，具体的な情報を聞き取る。<br>【Chant】“Can you sing well?”<br>【Watch and Think2】（前半）<br>【Activity】できるかどうか教師に尋ねたり，質問に答えたりする。<br>【Activity1】できるかどうか予想して，ペアでインタビューし合う。<br>【Small Talk】できること・できないこと<br>A: I can play soccer very well.<br>B: Oh, soccer. Nice.<br>A: Can you play soccer well?<br>B: Yes, I can. / No, I can't.<br>A: I see. | 【慣①】<br>できることやできないことについて尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しんでいる。(行動観察・ワークシート・振り返りカード) |
| 4 | ◆できることやできないことについて，一文を付け加えたり質問を入れたりしながら伝え合う。<br>◆自分のできることやできないことを書く。<br>【Chant】“Can you sing well?”<br>【Activity2】インタビュー<br>【Let's Talk】できることやできないこと，好きなこと・もの<br>A: I like soccer. I can play soccer very well.<br>Do you like soccer?<br>B: No, I don't.<br>A: Oh, I see. What sports do you like?<br>B: I like baseball. I can play baseball well. Can you play baseball?<br>A: No, I can't. I can't play baseball.<br>【Activity】Who is he/ she? クイズ<br>【Let's Read and Write】<br>例を参考に，自分のできることやできないことを書く。 | 【慣①】<br>簡単な語句や既習の表現を使って，できることやできないことについて話を広げながら伝え合っている。（行動観察，振り返りカード）<br>【慣②】<br>例を参考に，自分のできることやできないことについて書いている。（ワークシート） |
| 5 | ◆第三者のできることやできないことについて紹介する表現の仕方に気付く。<br>◆第三者について書かれた文を書き写す。<br>【Chant】“Can you sing well?”<br>【Small Talk】好きな有名人<br>【Watch and Think2】（後半）<br>【Activity】Who is he/ she? クイズ<br>【Activity3】先生のできることを書き写す。<br>She can jump high. She can't sing well.<br>He can play tennis very well. He can't play the piano. | 【気①】<br>第三者のできることやできないことについて伝える表現の仕方に気付いている。（行動観察，ワークシート，振り返りカード）<br>【慣②】<br>例を参考に，第三者のできることやできないことについて伝える表現を書くことに慣れ親しんでいる。（ワークシート） |

| | | |
|---|---|---|
| 6 | ◆できることやできないことについて伝え合い，第三者に友達を紹介する。<br>◆例を参考に，第三者のできることできないことについて，簡単な語句や基本的な表現を書き写す。<br>【Chant】“Can you sing well?<br>【Let's Listen3】<br>【Activity】インタビュー<br>【Let's Read and Write】例文を参考に，やり取りした内容をメモする。<br>【Activity】Who is he/ she? クイズ<br>【Sounds and Letters】ワードサーチ | 【慣①】<br>やり取りで得た情報をもとに，友達のできることやできないことを伝え合っている。(行動観察，振り返りカード)<br>【気①】<br>文字には音があることに気付いている。(行動観察，振り返りカード) |
| 7<br>(本時) | ◆友達についてできることやできないことを伝え合い，紹介カードを書く。<br>【Chant】“Can you sing well?<br>【Activity】Who is he/ she? クイズ<br>【Small Talk】<br>ペアのできることやできないことについて，他の友達に紹介する。<br>A: He can tell a joke. And he can sing well.<br>He can't run fast. But he can play soccer very well.<br>Who is he?<br>B: ○○kun?<br>A: That's right! He can shoot very well.<br>How about you? Can you play soccer?<br>B: No, I can't. But I like soccer. And I like Sanfrecce.<br>A: Oh, Sanfrecce. I see.<br>【Let's Read and Write】<br>やり取りしたことをもとに，紹介する内容を決めて紹介カードに書く。 | 【慣②】<br>自分を含めて，友達のできることやできないことについて伝え合ったことをもとに，例を参考に内容を整理して書いている。(行動観察，ワークシート)<br>【気②】<br>英語の書き方のきまりに気付いている。(ワークシート，振り返りカード) |
| 8 | ◆他者に配慮しながら，自分や友達のできること・できないことを紹介する。<br>◆話したことをもとに，内容を整理して紹介カードを完成させる。<br>【Jingle】Alphabet Jingle<br>【Sounds and Letters】アルファベットビンゴ<br>【Let's Read and Write】紹介カードを完成させる。<br>【Activity5】<br>【Activity】スピーチをする。<br>This is my friend, (　).He can tell a joke.<br>I can't play soccer well.<br>But he can play soccer very well.<br>And he can sing well. | 【コ①】<br>他者に配慮しながら，自分のことを含めて，友達のできることやできないことを紹介しようとしている。(行動観察，振り返りカード) |

**9　本時の学習**

**＜本時の目標＞**
　自分や第三者のできることやできないことについて伝え合ったり，例を参考に内容を整理して紹介カードを書いたりする。

**＜ゴールイメージ＞**
　できるか尋ねたり答えたりする表現を使って，自分の思いを伝えたり友達のことを理解したりしようとする。
　また，他者に友達のできることやできないことを伝える表現に気付き，話したり書いたりしている。

**＜学習展開＞**

| 13:40 児童の学習活動 | ○指導上の留意点等　◆評価 |
|---|---|
| 1【Greeting】<br>挨拶をする。 | ○児童が元気よく挨拶できるように，明るく元気よく挨拶する。<br>Let's start our English Lesson.<br>How are you?<br>What day is it today?<br>What's the date today?<br>How is the weather today? |
| 2【Chant】<br>♪ Can you sing well? | ○リズムにのってチャンツを行い，本時の活動で使う表現に慣れさせる。 |

| | |
|---|---|
| 3【Today's Goal】<br>本時のめあてを確認する。 | ○単元のゴールと流れを振り返り，本時のめあてを提示して学習の見通しをもたせる。 |

This is "Today's Goal". Let's read it together.
「友達のできることやできないことを伝え合い，紹介カードを書こう！」

**13:45**

| | |
|---|---|
| 4【Activity】<br>"Who is he/ she?" クイズ<br>先生のできることやできないことについての紹介クイズや会話を聞いて内容つかみ，既習表現に慣れ親しむ。 | ○前時までに行ったやり取りを扱うことで，表現を復習するとともに，定着を図るようにする。<br><br>○校内の先生について，メモをもとにできることやできないことを紹介し，児童のやり取りにつなげる。<br><br>○児童がやり取りをする際のヒントになるよう，友達のできることやできないことだけでなく，自分や相手はできるかどうか，好きかどうかなど，その場で話を広げながらやり取りをする。 |

T1: Let's try my quiz!
T2: Ok.
T1: She can ride a unicycle. And she can cook cheese dakgalbi.
Who is she?
T2: I don't know. Hint please.
T1: Ok. She can't snowboard. But she can ski.
And she can drive a big car.
T2: Wow, great. So... Fujii sensei?
T1: That's right! She can play tennis very well.
I can play tennis a little. How about you? Can you play tennis?
T2: Yes, I can. I like tennis very much. And I like watching baseball.
What sports do you like?
T1: I like badminton. I can play badminton very well.

**13:50**

| | |
|---|---|
| 5【Small Talk】<br>ペアの友達のできることやできないことについて，既習事項を使いながら他の友達と伝え合う。<br><br>・ペアを替えて複数回対話する。 | ○友達のことを伝え合うだけでなく，自分ができるかどうか言ったり，相手ができるかどうか尋ねたりして会話を広げさせる。<br><br>○表情やジェスチャーをつけて反応を返したり，Do you like～?などの既習表現を積極的に使ったりしながら，相手意識をもって会話を続けようとしている児童をほめ，全体の場で取り上げ紹介する。<br><br>○活動後は，初めて知った友達のことや自分との共通点など，気付いたことや考えたことを発表させる。 |

S1: Hi. Let's try my quiz!
S2: Ok.
S1: He can tell a joke. And he can sing well.
S2: Wow. Nice!
S1: Yes. And he can't run fast. But he can play soccer very well.
Who is he?
S2: ○○kun?
S1: That's right! He can shoot very well.
How about you? Can you play soccer?
S2: No, I can't. But I like soccer. And I like Sanfrecce.
S1: Oh, Sanfrecce. I see.

◆【慣】自分を含めて，友達のできることやできないことについて既習表現を使いながら伝え合っている。（行動観察）

| | |
|---|---|
| 14:00 【Read and Write】<br>をもとに，紹介する内容を決めて紹介カードに書く。<br><br>・先生のできることやできないことについて書かれた英文を聞いて読んだ後，なぞり書きをする。<br><br>She can play tennis.<br>She can ski.<br><br>・友達とやり取りした情報を整理し，紹介カードに書く内容をワークシートに書く。<br>（早くできたペアは，お互いの文を読み合う。） | ○やり取りから書く活動へつなげる流れや，英文を書く際のきまり等を確認するために，Activity で T1 と T2 が行ったやり取りをもとに他者へ紹介する内容を選び，英文をなぞり書きする。<br><br>○音声で十分慣れ親しませた語句や表現が文字と一致するように段階的に指導する。<br>○単語をまとまりで認識し，音と文字をつなげながら読めるよう，ゆっくり単語を押さえながら全体で確認する。<br><br>○1 単語ずつ発音しながら書き写させる。<br><br>○友達を紹介するために一番伝えたいことは何か考えさせ，メモから紹介カードに書く内容を選ばせる。<br><br>○文字の高さや形を正確にとらえているか見取り，個に応じて支援する。<br>◆【気】例を参考に，英語の語順や書き方の規則に気付いている。（行動観察，ワークシート）<br>◆【慣】友達のできることやできないことについて伝え合ったことをもとに，例を参考に内容を整理して書いている。（行動観察・ワークシート） |
| 14:20 【Reflection】<br>めあてに沿って本時の活動を振り返り，振り返りカードに記入する。 | |

（例）友達のできることやできないことを「He/ She can～.」を使って伝えることができた。○○君が△△できるとは知らなかったので驚いた。サッカーの話になって，●●さんはサッカーが苦手だけどサンフレッチェは好きだということが分かり，僕と一緒だったので嬉しかった。

8【Greeting】
挨拶をする。

That's all for today.
See you next time.

## １０　板書計画

She can run fast. He can jump high.
～見つけよう，意外な一面！伝え合おう，自慢の仲間！～

単元の流れ

㋮友達のできることやできないことを伝え合い，紹介カードに書こう！

Can you~?
Yes, I can.
No, I can't.

既習表現
1.Do you like~?
2.What ~ do you like?
3.Do you have ~?

He
She

can
can't

動作の絵カード

very well
well
very fast
fast
high
a little